

運転支援外来における安全運転指導

桔梗ヶ原病院

深澤聰志

【はじめに】

2025年以前の運転支援外来における実車評価は、入院患者と比較して、支援・介入の時間が短く、道路交通法の理解が不足しており、目視による安全確認、徐行・一時停止、標識の理解が不十分であった。その為、2025年度より外来での安全運転指導を行った後に教習所での実車評価を行っている。今回は、当院の安全運転指導の方法と意義を述べる。

【方法】

当院の安全運転指導は、①標識を提示しての確認、②危険予測トレーニングによる危険予測を実施し、実車評価の前に道路交通法が理解できていることを確認する。

【結語】

運転支援外来において、実車評価の前に安全運転指導を行うことにより、①患者が道路交通法をどの程度理解できているかを評価することができる、②安全運転指導で得た情報を教習所へ提供することができる、③患者自身も実車評価の準備ができる為、外来運転支援の充実に繋がると考えた。